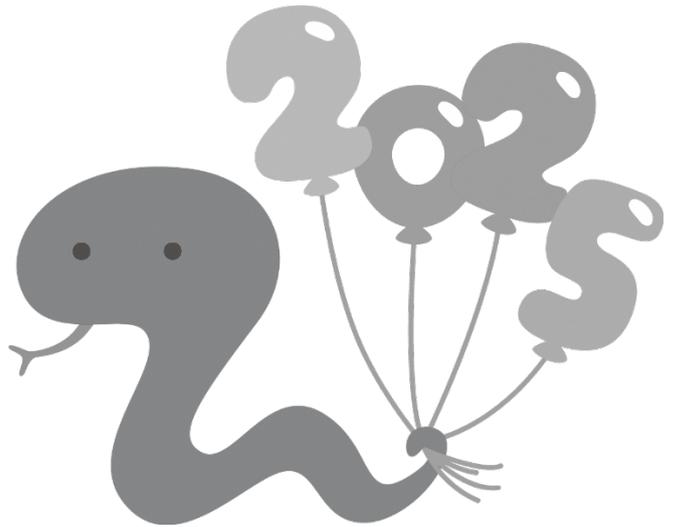




八雲町社協だより

共に助け合い、共に支え合う、安心して暮らせる
あたたかい福祉のまちづくりを目指して

迎春



年頭のご挨拶

八雲町社会福祉協議会

会長 大野 尚 司

新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

また、昨年中は本会の事業推進及び運営につきまして、温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、地域を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、少子高齢化や核家族化、ケアラーの増加等さまざまな問題が挙げられるようになり、これからの在り方について問われるようになっております。

地域課題への対応に当たっては、公的な制度に基づくサービスや支援だけでなく、地域住民が互いに支え合う地域づくりが大切とされております。

その中で八雲町社会福祉協議会では、令和五年度から五ヶ年計画で地域福祉の充実を図るため策定した「新四期地域福祉実践計画」を基軸として、地域共生社会への実現に向け、『ともに支え合う、安心・安全・福祉のまちづくり』を基本理念とし、各種施策・事業の推進を図り、町民の福祉向上に尽力してまいりますので、ご指導・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

新しい年を迎えるにあたり、社協がなすべき役割や町民が望んでいる姿を体現できるよう各種事業や行事の遂行に、役職員一同、力を合わせ積極的に取り組んでまいります。

今後とも一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、令和七年が皆様にとって幸多き一年となりますよう、心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

第8回 八雲町福祉懇談会

第8回八雲町福祉懇談会が令和6年11月20日、福祉団体やボランティア団体、民生委員等、約70名参集のもとシルバープラザで開催されました。

今回は北星学園大学社会福祉学科教授・岡田直人氏を講師に招き、『地域共生社会の実現に向けて～参加者の自己肯定感を高める地域の居場所づくり～』と題しご講演いただきました。

「地域共生社会の実現という言葉は、福祉関係者であれば耳にしたことがあると思います。福祉行政ではこれが目玉で重層的支援体制整備事業が行われており、地域共生社会を地域で作り上げる中で一番のネックが、今までこのようなことに関心を持たなかった住民の方に対し、気持ちよく地域の活動に参加してもらうにはどうしたらいいかで、地域の担い手を確保するためには活動する時に共感が持てたり、積極的になれる要素がどのくらいあるか、地域福祉活動にそれらがどれだけ用意されているかというのが、その集まりやグループの盛り上がりに影響があり、重要と思っている」と話し、続けて「一人ひとりが自然と身につけていて出来ること得意なことが、実は地域でも有難いことで、自分もまだまだ役に立てると思え、自己有用感が高められることによってより社会参加しやすくなる。まちづくりが目指すものとして、すでにやっていることを繋げることで新たな動きができ、地域の力となる。「気になる」をなんでも取り上げることが地域共生社会というが、出来そうなことから取り組んでいき、出来ないことはどうやって乗り越えたらよいかと考え、前向きに取り組んでいただきたい」と話されました。

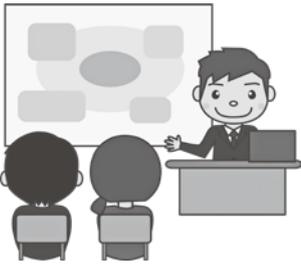


意見交換会では、町内3カ所の福祉施設『特別養護老人ホーム厚生園』下川部総合施設長、『ケアハウスひまわり・なのはな』工東生活相談員、『コミュニティホーム八雲』安田副施設長より各施設の概要と特徴を紹介していただきました。

各施設、皆様に親しまれ感謝して頂けるサービスや施設を目指し日々精進し八雲町に貢献したいと話され、時代に合った環境改善、地域に根差したアットホームな雰囲気づくりや企業との関係構築等の工夫をお話いただきました。また、介護職員の不足を解消する取り組みとして、外国人労働者を活用していることを説明していただきました。各施設ともに困りごと等があれば、気軽に相談して欲しいとのことでした。

一人ひとりが社会参加していると実感できるまちづくりを考える機会となった有意義な懇談会となりました。

令和6年度 八雲町社会福祉協議会役職員先進地視察研修



11月7日～8日の2日間、役職員視察研修を行いました。

1日目は札幌市民防災センターにて地震、暴風、火災による煙避難等の体験を行い、いつ何時起こるかわからない災害への不安は備えをしておくことによって少しでも軽減できると感じました。

その後、札幌市社会福祉協議会にて生活支援コーディネーターの取り組みについて視察してまいりました。各(区)地域によって困りごとは違いコーディネーターやボランティア活動も様々で、最年少は小学生ボランティアがいる地区もあり驚きました。当社協でも本年より生活支援コーディネーターが配属となっております。地域の困りごとをより気軽に汲み上げられることが必要と感じました。

2日目は京極町社会福祉協議会に視察に伺いました。『京極町共生型地域福祉拠点きょう・ここ』は町社協に対する町民からの寄附を契機に、空き家をリフォームし拠点としての運営を開始したものであり、現在はNPO法人を立ち上げ町社協から委託を受けて運営しています。「きょう・ここ」は有償ボランティアによる会員同士の助け合い活動であり、公的支援の対象とならない除雪や草刈りといった生活支援サービスを会員が行うほか、居場所づくりの取り組みとして子ども食堂等のコミュニティカフェがあり、気軽に参加でき居心地が良い空間でした。

両日の役職員研修を終え、町民同士で支え合う仕組みづくりとは、自分であれば「これなら手助けできるかも」という気持ち、自分の趣味や、得意を共有することによって地域が生き生きとしてくるのではないだろうかと再認識し、研修を終えました。



—福祉用具貸出事業(福祉ベッド)内容変更について—

福祉用具貸出事業でのベッドの貸出に関し、従来は社協職員での貸出希望者宅への配送し、設置を行っていましたが、人員の確保や諸般の事情を鑑み、**令和7年1月1日より、貸出希望者(関係者)が社協まで来ていただき、希望者側での配送、設置をお願いすることとなりました。**

誠に勝手ながら、他の福祉用具貸出と同様の取り扱いとさせていただきますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

※現在貸し出しているものに関しては当社協にて回収いたします。



赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金運動が10月1日～12月31日迄行われ、町民皆様から善意の募金が集まってきております。

令和6年11月30日現在の途中経過をご報告致します。

2,510,107円

 (目標額 3,600,000円)


内訳：戸別募金	1, 203, 099円
街頭募金	208, 158円
大口募金	978, 844円
その他	120, 006円



八雲デイサービスセンターのご案内

デイサービスの目的

利用者の方が能力に応じ、可能な限り自立した日常生活を営んでいけるように支援することを目的としサービスを提供致します。

デイサービスの一日の流れ

- ☆送迎サービス・・・自宅からセンターまでお迎えを致します。
- ☆健康チェック・・・その日の血圧、体温測定を行います。
- ☆日常動作訓練・・・機能訓練、レクリエーション等を行います。
- ☆食事サービス・・・季節に合わせ、バランスのとれた食事を提供致します。
- ☆休　　養　　・・・お昼寝や、テレビや雑誌を見たりして過ごして頂きます。
- ☆入浴サービス・・・広々した浴槽で、職員がお手伝いして入浴します。
- ☆送迎サービス・・・自宅前までお送り致します。

年間行事の様子

クリスマス会で仮装しました



運動会の玉入れ



夏祭りの射的



行事の時の昼食



デイサービスセンターでは、毎月利用者の皆様が楽しめる様々な行事を行っております。また、季節に合わせた昼食を用意しております。利用してみたい方や、興味のある方は施設見学や体験利用もありますので下記までお気軽にお問い合わせください。

☎63-4110 デイサービスセンターまで

皆様からの連絡お待ちしております。

令和6年度 渡島管内ボランティア活動研究協議会開催!

去る12月4日(水)渡島管内ボランティア活動研究協議会がオンラインにて開催されました。

ボランティアへの期待が高まるなか後継者不足が課題となっており、「地域住民の参加」と「担い手」の確保への仕掛けのヒントを得ることを目的とし行われ、八雲からは14名のボランティアが参加しました。

くしろ元町青年団事務局長・相原真樹氏による講演『地域活動のエンターテインメント化を目指して』が行われ、地域に若者が減るなかで「地域を知ってもらおう」「若者が参加できる場をつくる」活動について講演いただきました。就労世代を巻き込む手法はあるかという問いに対し、好きなことは忙しくてもできるので活動を「遊び」という感覚で行えるようにすることが大事とのお話がありました。

今後、多世代での活動がとても重要になっていくと改めて感じました。

No.35

ボラ通



生活支援コーディネーター【おおしみず】の

コーディネーターは こ〜でね〜と!



生活支援コーディネーターに関する
情報をお届けします!



謹賀
新年

あけましておめでとうございます!新しい年がスタートしましたね!

「コーディネーターはこ〜でね〜と!」も今回で3回目の掲載となりますが、題名の『こ〜でね〜と!』の反響が多少良い??印象を受けています(笑)読んでいただいている喜びを感じながら、今後も情報発信をしていきたいと思えます。

さて、今回は生活支援コーディネーターとしてサポートしている「地域住民が主体で取り組んでいる活動」の様子を一部お伝えいたします!

【誰でも座れる椅子プロジェクト】



町を歩いている時に座って休めたら…そんな思いで始まった町内に椅子を置くプロジェクトです。どなたでも座ってOK!

【おかん・おとんアート展】



作品を見せる場所・機会がない…そのような作品を作った人と見に来た人が気軽に交流できるように…という思いから始まった展示会です。

参加してみたい!
聞いてみたい!
気になった活動等
ありましたらお気軽
にお問い合わせせ
ください!

【いきいき百歳体操】



お店・団体が実施している座りながら行う簡単な体操です。1月1日現在、13か所で開催中!

【スマホ教室】



スマホの操作が分からない、家族が遠方において使い方が聞けない…そんな方々の悩みを気軽に解決します!

☎64-2112



令和6年11月13日(水)に一般社団法人生命保険協会函館協会様よりポータブル石油ストーブ2台の寄贈を頂きました。

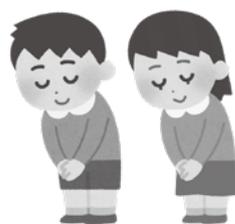
函館協会では、協会職員皆様の募金協力のもと、社会貢献活動として平成4年度から渡島・松山管内の社会福祉協議会に対し、社会福祉関連事業に必要な物品・機器の寄贈活動を行っています。

災害時の備えとして大切に使用させていただきます。



八雲町ボランティア連絡協議会 ヤクルト自動販売機取扱事業

当ボランティア連絡協議会では、平成25年度より八雲町、ヤクルトさんのご協力のもと、自動販売機の取り扱い事業を行っております。シルバープラザ談話コーナーに設置しており、売り上げ金はボランティア活動に活用いたします。是非ご協力のほどよろしくお願いいたします。



社協活動メモ

十月

- 令和六年度生活支援コーディネーター連絡協議会 札幌市
- 生活支援整備事業に係る協議体
- 令和六年度渡島・松山管内社協職員連絡協議会合同研修 函館市
- 社会福祉法人に係る一般指導監査
- 障がい者理解促進講習会・療養講習会
- 令和六年度トップセミナー・社協経営・運営を考える意見交換会 札幌市
- 令和六年度全道市町村社協事務局長連絡会議 札幌市
- 八雲ボランティア研修旅行 木古内町・知内町
- 北海道民間社会福祉事業職員共済会永年勤続職員表彰式典 札幌市
- 熊石ボランティア協議会研修旅行 白老町
- 令和六年度第2四半期定期監査

十一月

- 八雲デイサービスセンター運営協議
- 八雲町社会福祉協議会役員先進地視察研修 札幌市・京極町
- 生命保険協会福祉機器寄贈式
- 令和六年度第一回八雲総合病院運営検討会議
- 第四回理事会
- 生活支援体制整備事業に係る協議体
- 第8回八雲町福祉懇談会
- 令和六年度第三回渡島管内社協職員連絡協議会役員会 北斗市
- 令和六年度北海道地域防災マスター認定研修会

十二月

- 八雲町ボランティア連絡協議会役員会
- 令和六年度ボランティア活動研究協議会
- 令和六年度第一回地域に理解され、支持される社協づくり研修

皆さんの温かい善意のご寄付ありがとうございました ボランティアセンター（愛情銀行）

令和6年10月16日～令和6年12月10日(順不同・敬称略)

【一般寄付】

- 匿名 2,692円
- 匿名 2,000円
- スナック草笛 108,290円
- 第一清掃(昭和54年度より継続) 16,420円
- 匿名 246円

【物資寄付】

- 一般社団法人 生命保険協会函館協会 ポータブル石油ストーブ2台

会報第七十六号

八雲町社協だより

令和七年一月一日発行

二海郡八雲町栄町十三―一
社会福祉法人 八雲町社会福祉協議会

TEL 0137-64-2112
FAX 0137-63-2160

赤い羽根共同募金の助成金は、八雲町社協だよりの発行にも役立てています。